

「2023年度賛助会員幹事店会」開催

2023.8.25

一般社団法人 日本加工食品卸協会

2023年度「賛助会員幹事店会」次第

[日 時] 2023年8月25日(金) 11:00~12:30 (12:30~:昼食)

[場 所] LEVEL 21 東京會館

東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル 21階

[次 第]

1. 挨拶

日食協 政策委員会 委員長 三菱食品(株) 取締役常務執行役員 細田 博英
賛助会員幹事店会企業代表 味の素(株) 執行役常務 田原 貴之 様

2. 日食協活動報告 日食協 専務理事 時岡 肯平

3. 討 議

テーマ:「持続可能な物流の構築」に向けた課題解決状況について

—「2024年問題」を間近に控える中でメーカー・卸間における「持続可能な物流の構築」は喫緊の課題となっており、製配販の連携の中で様々な取組みがなされています。その様な状況下、今回の幹事店会においても昨年に引き続きこのテーマを取り上げ、賛助会員幹事店会の各ご企業が進められている物流対策について、各幹事店委員からご表明いただき、日食協委員と意見交換をさせていただきます。

具体的にご発表いただく内容としては、

- ① 「持続可能な物流の構築」に向けて現在進められている物流対策
- ② リードタイム延長実施状況と卸側が要望している(リードタイム延長の前提としての)受注締め時間の後倒しへの対応

以上の2点について、この1年間の各ご企業の対応状況をご表明ください。(参考資料として、前回開催時(2022年8月26日)に各社からいただいたコメントを添付いたします。)

4. 出席者

出席者名簿別添

以上

2023年度 賛助会員幹事店会 出席者名簿

一般社団法人 日本加工食品卸協会

(賛助会員幹事店委員)

(敬称略)

会 社 名	役 職	氏 名
味の素株式会社	執行役常務 食品営業統括	田原 貴之
アサヒ飲料株式会社	専務取締役兼専務執行役員 (代理出席) 営業統括部 副部長	伊藤 哲也 岩本奨次郎
カゴメ株式会社	取締役 常務執行役員 営業本部長 (代理出席) 執行役員 東京支社長	小林 寛久 増田 和俊
キッコーマン食品株式会社	執行役員 副ナショナル・セールスマネージャー 首都圏支社長 (代理出席) 首都圏支社 営業第一部長	井上 信政 岩峯 崇
キューピー株式会社	執行役員 家庭用本部長	田川 篤志
サントリーフーズ株式会社	取締役 常務執行役員 営業推進本部長 (代理出席) 取締役 首都圏営業本部長	大城戸 弘 田村 和英
日清オイリオグループ株式会社	常務執行役員 (代理出席) 食品事業本部 副本部長	三枝 理人 佐藤 龍生
日清食品株式会社	取締役 ビジネスソリューション本部長	高間 浩司
株式会社日清製粉ウェルナ	常務取締役 営業担当	新谷 浩治
ネスレ日本株式会社	常務執行役員 営業本部長	井上 学
ハウス食品株式会社	取締役 営業本部長 (代理出席) 営業本部 営業企画推進部長	井上 寿夫 安江 伸一
株式会社桃屋	取締役 営業本部長 (代理出席) 営業企画部 次長	相原 淳 加藤 勝徳

(日本加工食品卸協会委員)

(敬称略)

会 社 名	役 職	氏 名
伊藤忠食品株式会社	取締役 常務執行役員	福嶋 義弘
加藤産業株式会社	常務取締役 営業副本部長	太田 尚史
国分グループ本社株式会社	取締役 専務執行役員	物井 敦
コンタツ株式会社	専務取締役	津久浦慶邦
株式会社サンヨー堂	常務取締役 商品部長	新網 博信
株式会社日本アクセス	取締役 常務執行役員	奥川 洋介
三井食品株式会社	取締役 専務執行役員	阿部 太
三菱食品株式会社	取締役 常務執行役員 商品統括	細田 博英
一社 日本加工食品卸協会	専務理事	時岡 肯平
三菱食品株式会社	執行役員 SCM統括 統括オフィス室長 (物流問題研究会座長)	小谷 光司

- 「持続可能な物流の構築」に向けて現在進めている物流対策
- リードタイム延長実施状況と卸発注×時間後倒しへの対応に関する現状

・ **A 社**

2022年1月～7月に於けるリードタイム延長実施状況を調査、出荷箱数ベースで94%が受注日の翌々日配送実施済み。届け先ベースでは約97%が翌々日配送実施済み。受注×時刻後ろ倒しの件では、フォークリフト作業員、トラックドライバーの不足や高齢化が深刻な問題。現在11時×で12時×も一部ある。13時×について検討させていただくも、現状では難しい状況。

・ **B 社**

翌々日配送（LT2）については届け先ベースで60%ほどの実施状況である。業務用の卸店は比較的翌々日配送ができていますが箱数ベースで3割にとどまる。盆暮れGW、年3回の繁忙期には業務用卸以外にも短期スポット的に対応いただいている状況。受注×時刻後ろ倒しの件では、バッチ式の処理作業のため11時×と12時×が混在すると、作業工数が2倍になるという悩ましい問題がある。この問題については物流連携各社と情報共有しつつ検討を進めていく。

・ **C 社**

翌々日配送（LT2）について、年3回の繁忙期は卸店にお願いをして営業日で7～8日間翌々日配送をほぼ100%実施を了承いただいている。これを踏まえ2023年3月から全国一斉翌々日配送をお願いしようとしている。×時刻の件、当社は現在午前10時×であるが、諸々実験、検討の結果23年3月から13時に繰り下げの予定である。検討を継続し、さらに繰り下げを図っていきたい。

・ **D 社**

受注×時間の件で、自社の希望としては13時だが卸側の希望する15時と乖離がある為、7月4日から14時受注×を実際に開始している。8月現在、特に大きなトラブルもなく進行しているとの認識である。引き続き検討継続中であるが15時×はかなり難しいというのが現状である。

・ **E 社**

翌々日配送の実現度合いは一部直取引チェーン、例外的緊急対応等を除けばほぼ実現できている状況である。受注×時刻は現在11時だが、10分～15分遅れの駆け込みや受注エラーの修復等、極力対応できるよう数字を拾ったり、不足在庫を他拠点から横持ちするなど、×後の様々なフォローに3時間ほどかけて最終的な数値確定をしている。現状のやり方では×時刻繰り下げへの対応は難しい。製配販一体での取組み、交渉が必要と考える。

- ・ **F 社**

盆暮れGWの三大繁忙期には受注日翌々日配送を依頼し、実施している現状にある。受注時刻の後ろ倒しの件、卸の要望する15時について現時点で想定される課題を社内で検証しているが実際に具体的なオペレーションの実態把握のための実証実験が必要であろうという社内の認識。先ず第一段階として13時頃の実証テストを一部エリアで行う方向で検討中。

- ・ **G 社**

広域卸店の5企業については繁忙期以外の通常受注についてのLT2を承諾いただけていない。それ以外はLT2ができており、物量ベースで70%が翌々日配送できている。昨年6月に受注時刻13時をテスト的に行ってあまり大きな障害が無かったので、本年9月頃から（日程等の相談はこれから）卸店1社にお願いして13時頃をテスト運用して検証後に首都圏エリアでの受注時刻13時を広がっていきたいと考えている。

- ・ **H 社**

当社はいち早く翌々日配送について対応いただき、ありがたく思っている。受注時刻は現状11時であるが商品の特性として毎週のように新商品の投入があり新商品を含む物量波動が非常に大きく、受注時刻の後ろ倒しは難しい状況との認識。改善策を協議継続していく必要については認識しており、小売を含めた啓蒙、意識改革を一緒にやっていきたいと考えている。

- ・ **I 社**

当社は、コロナの問題が起きてそれに絡んでいろいろな問題が発生した時に翌々日配送のお願いを申し上げ、それをお受けくださった先については今も実施している。従って全てご対応いただいているわけではないという現状にある。受注時刻繰り下げの件については物流連携企業グループと一緒に検討を進める考えで、まだ結論は出ていないが先ず実証実験をして・・・ということになると思う。一方、物流効率化を図るためには積載効率の改善が必要で、メーカーなら段ボールのサイズ規格を統一するような取組みも必要ではないかと考える。

- ・ **J 社**

当社は常温商品の扱いが少ないことも関係して翌々日配送に向けたアクションが遅れており、これからというのが実態である。優先順位の高い冷凍食品については新潟エリア、長野エリアに於いて盆暮れGWにシルバーウィークを加えた4大繁忙期についてLT2を昨年よりお願いして実施中である。一方、トレーラーを中継しドライバー交替することによって長距離運転の問題に対応するテストを行っている。

- **K 社**

翌々日配送については2019年より卸の皆様をお願いをし、一部の例外を除いてほぼ実施できている。

現在は受注×11時で運用中であり13時に向けた社内検討を行っているところである。

全ての注文が翌々日配送に統一されれば13時×の可能性が高くなる。

FAXオーダーについては13時×に含むことは難しいのでご了承いただきたい。

- **L 社**

翌々日配送は届け先ベースで65%で実施という状況である。但し業務用ルートがほぼ翌々日配送できているので、箱数ベースに置き換えると全体では65%よりかなり低い状況である。年3回の繁忙期の対応としては殆どの卸店に翌々日配送を受けて頂いている。

受注×時刻の後ろ倒しについては勤務形態の変更等も含めて社内で影響度合いを検証中であるが、「歩みを止めない」との大前提で検討継続していく。

- **M 社**

現在当社は11時×翌日配送にて運用中であり翌々日配送は行えていない。盆暮れGWの繁忙期には中一日空けたオーダーのお願いをしているが翌日配送の現状。

11時受注×後にFAXオーダーの取り込み等に約1時間半を要している。

LT2となった場合、受注×13時への対応は現状作業の流れの延長で対応可能だろう

(物流部署の見解)と思われるが、実際にその時間で運用していないのでそれ以降については不明。具体的なアクションができていないので同席各社と足並みを揃え早急に準備を進めたい。

- **卸代表N社**

賛助会員各社の発表を伺い社会的要請の強い問題かつ自社のコストに直接跳ね返る問題として正面から取組んでおられると理解したが、自社の体制の話題に終始するだけでなく卸や小売に「こうしてくれ」という要望を出していただかないと、お互いフラットな形ではないと思うので、是非次回からは言っていただきたい。

このテーマについて進めていく上でEDIは大前提であり、人的工数の非常にかかるFAX対応は対象外とする。また、受注されるメーカーも欠品が無いということがもう一つの前提となる。

我々卸はメーカーだけでなく小売に対しても発注リードタイムや配送頻度についてCO2問題等の社会的要請ということも踏まえ申し入れていかねばならない。

この活動によってお互いが若干収益面で傷つくことがあるかもしれないが、2024年以降も続いていく問題に対する投資と置き換えて、社会的要請に業界としてしっかりと対応していきたい。引き続き忌憚ない意見をお願いしたい。

「商談支援システム説明会」開催

日食協では小売業に対する見積書提出などの商談に付随する業務の効率化を目的として「共通プラットフォーム構築専門部会」の下に「商談支援システム事業化検討分科会」を設置して検討を重ねて来たが、その内容をメーカー各位に説明の上、広く意見をいただくために、8月28日から8月30日まで3回に亘り Web 発信による説明会を実施した。

2023年8月2日

賛助会員各位

「商談支援システムによる業務効率化」説明会のご案内

一般社団法人 日本加工食品卸協会

平素より賛助会員メーカー様には、弊協会の活動に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私ども卸とメーカー様にとって、小売業に対する見積書提出などの商談に付随する業務は、手作業によるExcelファイル作成・メール送信など非効率な作業が多く、デジタル化の推進による業務効率化が課題となっています。これらのテーマについて弊協会では、個々の企業がそれぞれに業務改善を進める一方で、業界全体の取組みとして標準化推進を進めて行くことが必要であるとの認識に立ち、本年2月より「共通プラットフォーム構築専門部会」の傘下に「商談支援システム事業化検討分科会」を設け、事業推進に向けた検討を行ってまいりました。今般、当分科会において一定の方向性を取りまとめましたので、その内容を賛助会員メーカー様にご説明し、広くご意見をいただくことを目的に、表題の説明会を実施することといたしました。

時節柄、大変お忙しい中恐縮ではございますが、下記内容による説明会にご参加をいただき、様々なご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

以上

記

1. 日 時：2023年8月28日（月）、29日（火）、30日（水）
いずれも13:30～14:30ウェビナー形式で開催
説明内容は3回とも同様ですので、いずれかの回にご参加ください。
ウェビナー視聴用URLとパスコードは次ページをご参照ください。
2. 内 容：「商談支援システム」の概要説明 及び 説明内容に関するアンケートの実施
「商談支援システム」とは、「卸・メーカー間で見積情報・商品マスタ情報の授受をデジタル化し、フォーマットの共通化や自動変換・出力を行うことで、提出先小売業ごとの個別対応、担当者ごとの重複作業を削減し、サプライチェーン間の全体最適を目指す仕組み」を云います。
なお、当日使用する説明資料につきましては、事前に参加者の皆さまへの配布を予定しています。

3. ご参加頂きたい対象者

卸営業部門・営業企画部門・業務改善担当部門のマネージャークラスの方
卸営業部門の実務担当の方

4. 申し込み方法

別添の「説明会参加申込書」(Excelシート)に必要事項を記入し、**8月18日(金)まで**に日食協事務局(nsk-sano@nifty.com)宛、お送りください。各社ごとの参加人数は問いません。奮ってのご参加をお願いいたします。

5. アンケートのお願い

説明会終了後、説明内容に対するご意見及び各社様の状況についてアンケートを実施させていただきますので、ご協力の程お願いいたします。

以上

※ 説明会資料は本誌 33 ページに掲載

〈アンケート実施結果まとめ〉

アンケート結果

(1)アンケート概要

参加者に対し、アンケートを実施した。質問内容は、主に、

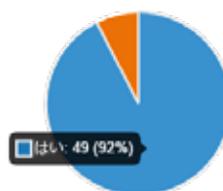
- ・現状の業務方法・内容、
- ・課題、
- ・本サービスの利用意思、
- ・その他意見

(2)質問と回答内容

Q1 現在、卸売業から要請される小売業指定の見積書式(Excel等)が複数あり、対応に苦慮している。

はい 49
いいえ 4
→いいえの場合、その理由

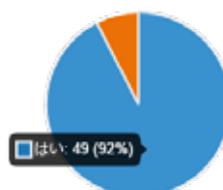
自社の統一見積書を使用しているため。
見積もり作成にはそれほど時間が掛かっていないため
見積もり作成には時間がかかっていないため



Q2 「卸共通」のデータ化(見積共通フォーマット)により「自社全体」の業務改善につながりますか。

はい 49
いいえ 4
→いいえの場合、その理由

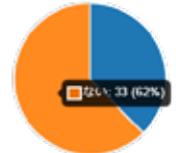
利用してみないとわからない
自社独自の見積もりフォーマットを使用しているため
自社見積もり作成FMTがあるため



アンケート結果

Q3 見積作成時に、会社で決められた見積書の書式がありますか。

ある 20
ない 33



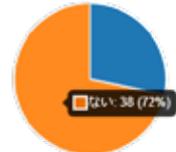
Q4 自社の書式がある場合、卸に見積書提出するときは、その書式のまま提出していますか。

そのまま提出 2
卸所定の書式に転記 16
その他 2 卸から指定が無い場合は提出している、ケースバイケース



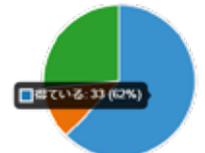
Q5 見積作成のための社内システムがありますか。

ある 15
ない 38



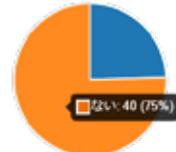
Q6 見積提出前に社内承認を得ていますか。

得ている 33
得ていない 6
その他 14 ケースバイケース、通常より+条件必要な時は得ている、案件の規模による、一定条件迄は支店にて承認



Q7 見積書の社内承認を得る為の決裁システムがありますか。

ある 13
ない 40



3

アンケート結果

Q8 見積書データを社内システムからCSV形式等で出力することは可能ですか。(Q7で「ある」の場合)

可能 6
不可能 7



Q9 本システムを使用したいと思いますか。

はい 11
いいえ 3
条件次第 39

→条件次第の内容(次ページ)



4

アンケート結果

Q9の「条件次第」の内容(回答者39名)

【どのような条件なら利用を検討するか】

料金体系・費用対効果	25
参加する卸の数	10
得意先小売業の参加状況	6
情報セキュリティ	7
小売向けフォーマットの統一	2
その他	10 (検索機能、使い勝手、自社システム連携が可能か、等)

5

アンケート結果(詳細)

Q9の「条件次第」の内容(回答者39名)

1	毎月の販促計画商談で小売業側が使用するフォーマットはばらばらだと思うので、その統一がされるのかどうか。
2	価格と参加卸の数
3	①対象量販店数、②対象卸、③費用
4	コスト面が不透明である
5	コスト面が不透明
6	料金体系やセキュリティ管理などが確認出来ればと考えます。
7	費用対効果にて検討したい、一人当たりにて
8	システム利用料とどれだけの卸が参画されるかによって求める効果が変わってくる為
9	現状思いつく範囲ですが、入力情報を確認できる権限の設定の有無(メーカー内、卸内ともに) 条件適用の設定が複数の条件に対応できること 例)数量 期間 組み合わせ 販促形態(エンド、チラシ、月間、関連販売、ポイント、等)
10	利用コスト
11	現行、見積書は、部署の捺印後提出しているため。
12	本当にこのシステムで小売業の見積もりに対応できるのか? ※ 対応出来ない小売業も出てくるのではと懸念 セキュリティーの問題がちゃんとクリアできているのか?
13	コスト面 セキュリティー面
14	卸様や小売店様からのご指定があれば使用したいと思いますが、当社から積極的に使用することは考えていません。
15	各卸様が見積りの共通フォーマット化を推進していただける。また、量販店様の見積りフォーマットも将来的に一元化され、効率化が進むことを希望します。
16	コスト、セキュリティの担保(開示すべき相手以外への情報漏洩対策)、将来的なEDI化についてのシステム投資の大きさ、過去に提出した資料の検索性と修正の可否(誤っていた場合の差替え時は上書きされるのか、それとも提出日付の違う見積りが二つ表示されるのか)
17	価格と汎用性 当システム使用企業数
18	コストと対象となる小売業の数次第かと思えます。
19	費用、セキュリティ、簡便性、卸企業参加率、メーカー卸の粗利改善
20	コスト及びシステムの中身
21	1・見積システムの詳細を見ないとイメージが湧かないです。2・費用負担があるか不透明です。3・具体的な参加予定小売業名(参加企業数)を知りたいです。
22	情報セキュリティの安全性と、コスト感、参加企業のボリュームにて判断させていただきたいと思えます。
23	営業部署やシステムなど関連部署との調整が必要
24	コスト、使いやすさ。
25	コスト面について、1人1アカウントとなると費用によっては厳しいと感じるメーカーも増えそうと感じました。
26	カバー率、価格
27	費用面
28	コスト、卸・小売業の利用状況
29	費用面
30	実際の物の使い勝手 費用対効果 弊社得意先(小売様)の参加状況 見積以外の汎用性の確認(現状だと、見積りだけの商談ではなく、別途提案書等も必要となりますので、その資料との連動?等)
31	システム使用料、導入企業(得意先)状況次第と考えます。
32	当システム採用の結果、効率化が図れることが最大の条件と思えます。その為には食品卸各社の皆様が当システムを活用し、商談活用している状況が必要と思えます。
33	未収条件や納品価格等の開示状況と関係者以外への秘匿性の確保、そしてコスト
34	自社システムとの連携
35	自社のシステムと結びつけば、検討の余地あり

6

アンケート結果(詳細)

Q10 説明会に対するご意見ご質問等ございましたら記載ください。(回答者25名)

1	実現性がどれほどのもので、いつ頃から導入されるものなのかが不明なので、浸透してきたら導入を検討することになると感じました。
2	量販店の帳合問題と曖昧な量販店の場合
3	考え方は素晴らしいと思います。各社重複作業軽減出来れば、時間の捻出になります。
4	「卸が得意先に提出した見積りをメーカーが共有確認できる」とのご説明ありましたが、これが実現されるのであればメーカーにとってメリットは非常に大きいと感じます。
5	業界の効率改善に向けてご尽力賜り誠に有難うございます。
6	ご説明ありがとうございます。以下、質問させていただきます。①メーカーが提示する見積り単価情報の公開範囲の制御方法を説明をいただきたいです。②ご提案頂いたシステムを弊社が利用を開始した場合、商談支援システム事業検討分科会に参加されている6社様の各小売ご担当者から依頼いただく見積依頼に対する見積提出は、すべて同システムを利用しての提出に統一できるとの解釈でよろしいのでしょうか。※例外が発生する可能性があるのか確認をたいです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
7	卸ごとの条件が異なる場合、どのようになるのか。
8	上記にも記載しましたが、このシステムで小売業の何割ぐらいを網羅できるイメージでしょうか？ サプライチェーンへの全体最適として、限りなく100%の小売業様で活用いただければ、卸店様、メーカーも賛同しやすいと思いますし、業務効率も格段に上がると思います。実現になるように、大いに期待しています。
9	具体的なシステム画面や見積共通フォーマットに入力すべきデータ等を紹介頂いた方が、理解が深まったと思います。
10	管理量販店など得意先毎に別途見積り対応の際にはどのように対応するのか教えていただけますでしょうか。
11	画面イメージやシステム連携など詳しく知りたい。
12	内容が具体的(入力フォーマット・テスト運用開始決定)になったら説明会お願い致します。
13	次回説明会で確認できるかと思いますが、統一フォーマットの書式と変換後のイメージ、マスタ管理会社との連携で自動生成されるか等が気になりました。
14	今のところ費用感が不明。負担が大きいと導入の足かせになる。またセキュリティ、他社に情報が漏れないかなども説明いただきたいと思います。
15	ご説明ありがとうございます。現状当社には見積もり自体を承認するシステムが無く、見積もりと支払内容のギャップを確認することができておりません。その面でも本内容は良いと思います。あとは12でお答えしたような課題がクリアになるかどうかだと思います。コストが合わなくて参加企業が少なくなると、せっかくのメリットが発揮できませんので…。
16	実現できればメーカーとしての負担も減らせるのではと感じました。ぜひ、実現に向けてご尽力賜りたく何卒よろしくお願い致します。
17	経費感等が不明のために現時点ではわからない また基幹システムが変わるために現時点ではわからない
18	参考になりました。ありがとうございました。
19	メーカー・卸が抱えている課題に対しての提案は有難いです。また、内容についてもとても勉強になりました
20	貴重なお話をありがとうございました。見積り統一されれば業務効率化に繋がると思いますので是非、統一化をお願いいたします。
21	一般店向け(営業未)の-の小売店のお見積りであれば効率も良くなり、業務改善につながると思います。ただ、個別に営業担当者がついている小売店になるとお見積りの条件(個別リポート・契約金など)が複雑になっているケースも多々あると思いますので、支援システムを活用しても個別で資料作成が必要になると思いました。
22	大変有意義な取り組みと考えます。業界全体の流れに対応出来るように、弊社も社内検討を進めたいと考えます。
23	具体的な事例での説明があると、更に理解が深まると感じました。
24	業務の効率化が図れると考えられ、使用に係る経費次第のところもありますが、前向きに使用を検討したいシステムです。
25	ご説明いただき、ありがとうございます。個別にご相談させていただいておりますが、業界全体の標準化・効率化のため、協業にて取り組ませていただければ幸甚に存じます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。※説明会の後、社内で議論しましたが、論点は「どれだけ利用メーカーを増やせるか」でした。ポイントは負担コストをどれだけ抑えることができるか(メリットに見合う価格設定ができるか)かと存じます。また、無料コースを(言葉は悪いですが)使わせても、そこにメリットを感じなければ形骸化するリスクもあり、個別に丁寧な説明が必要と感じました。弊社は社内システムと連携し極限まで業務効率を高める構想でありますゆえ、なんとか持続可能な状態(多くのメーカーがメリットを感じ喜んで使用している状態)に持っていきたいと考えております。

「フードディストリビューション 2023」開催

日食協と（一財）食品産業センターの主催で7回目となる食品物流をテーマとした展示会「フードディストリビューション 2023」が9月20日から9月22日の3日間に亘って有明の東京ビッグサイトにて開催された。来場者数は3日間合計で16,597人を数え、昨年の入場者数を約2,400人上回った。

開催2日目の21日11時より「持続可能な物流の構築に向けて」～メーカー・卸・小売3層の協同ワーク～と題してパネルディスカッションが行われ、定員200名の会場が満席となる盛況であった。



セミナー

9月20日（水）	9月21日（木）	9月22日（金）
10:30~12:00	11:00~12:30	10:30~11:15
物流施策大綱と2024年問題	「持続可能な物流の構築に向けて」 ～メーカー・卸・小売3層の協同ワーク～	商用車に於けるカーボンニュートラルへの 取り組み
コーディネーター 上智大学 名誉教授 荒木 勉	コーディネーター （一社）日本加工食品卸協会 専務理事 時岡 肯平	いすゞ自動車(株) 執行役員開発部門VP 佐藤 浩至
フィジカルインターネット実現のロードマップ	パネリスト キュービー(株) 執行役員 ロジスティクス本部 部長 前田 賢司	11:45~13:15
経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課長 兼 物流企画室長 中野 剛志	パネリスト 三菱食品(株) 執行役員SCM統括 統括マネージャー 室長 小谷 光司	持続可能な食品物流の実現に向けて
国土交通省における最近の物流政策	パネリスト (株)ライコボレーション 首都圏物流部 部長 渋谷 剛	コーディネーター 上智大学 名誉教授 荒木 勉
国土交通省 総合政策局 物流政策課 課長 平澤 崇裕		パネリスト アサヒロジ(株) 取締役副社長 島崎 市朗
12:30~13:15	14:30~15:15	スワップボディを活用した幹線中継輸送 ～SLOCについて～
冷凍・冷蔵における物流の自動化	荷主&物流事業者&システム事業者が共同で考える、 物流業界におけるデジタル技術の活用と 次世代サプライチェーンの最適化	(株)デンソー デジタルソリューション推進室 データロジスティクス推進課担当次長 末次 光
日本産業車両協会と2022年の無人搬送車システム 納入実績の紹介	味の素(株)食品事業本部 物流企画部スタッフグループ 長 長濱 賢治	グリーン水素による純水素発電システム活用事例
(一社)日本産業車両協会 専務理事 高瀬 健一郎	味の素(株) コーポレート本部 マニファクチャリング 戦略部 SCMグループ シニアマネージャー 武田 建	(株)H2 Innovation 代表取締役 森 陽介
冷凍・冷蔵倉庫現場での自動化の取り組み	日清食品(株) Well-being推進部DX推進室 室長 伊橋 匠	13:45~14:30
三菱ロジスネクスト(株) 門地 正史	GS1Japan((一財)流通システム開発センター) ソリューション第2部 RFID・デジタル化推進グループ 研究員 佐藤 友紀	持続可能な食品物流の具体的取組み
3温度帯の物流現場で効率化と負担軽減を実現！		上智大学 名誉教授 荒木 勉
ハイロボティクスが考える生産性の高い倉庫とは		大和ハウス工業(株) 建築事業本部営業統括部 D7プロジェクト推進室 室長 手塚 公英
(株)HAI ROBOTICS JAPAN 安部 純一郎		
15:45~16:30		
加工食品の物流クライシスと物流DX ～フィジカルインターネットによる解決策～		
(株)野村総合研究所 産業ITソリューション事業本部 シニアファシリテーター 藤野 直明		

「2023年度 各支部定時総会」開催

【関東支部】

関東支部の2023年度幹事会、並びに定時総会が6月5日（月）、LEVEL21 東京會館（千代田区）にて開催された。

当日は11時半より幹事会、昼食後13時より定時総会の順で開催された。また、定時総会終了後に特別講演会が行われ、本年は環境省自然環境局生物多様性主流化室室長補佐 光山（こうやま）拓実氏による『「C」から「N」へ。サステナビリティはビジネスのピンチにもチャンスにもなる』と題した講演が行われた。

【2023年度関東支部定時総会 要旨】

日 時	2023年6月5日（月）13:00
場 所	LEVEL21 東京會館（アーバンネット大手町ビル）
次 第	第1号報告 5月26日開催本部定時総会の報告
	第1号議案 2022年度事業報告の件
	第2号議案 2022年度決算報告に関する件
	第3号議案 2023年度事業計画案に関する件
	第4号議案 2023年度収支予算案に関する件
	第5号議案 役員改選に関する件
	第6号議案 その他



第5号議案「役員改選に関する件」では、辞任した田中正昭幹事（日本酒類販売株式会社）、望月義人幹事（三井食品株式会社）の後任に倉本隆氏（日本酒類販売株式会社）、大友隆之氏（三井食品株式会社）の幹事就任が承認され、同じく辞任した神保敏郎会計監事の後任として小奈健氏（伊藤忠食品株式会社）の会計監事就任が承認された。

【東海支部】

東海支部の2023年度定時総会が名古屋観光ホテル「御嶽の間」にて開催された。当日は中食連2023年度定時総会、講演会と併せての開催で、定時総会後の講演会では新編岡崎市史調査員の市橋章男氏による『「どうする家康、三河武士たち」～長篠の合戦、チーム家康の挑戦～』と題した講演が行われた。

定時総会第5議案「役員改選の件」では現職役員全員の重任が決定した。

【2023年度東海支部定時総会 要旨】

日 時	2023年6月21日（水）13:30
場 所	名古屋観光ホテル（名古屋市中区）
次 第	第1号議案 2022年事業報告書承認の件
	第2号議案 2022年収支決算書承認の件
	第3号議案 2023年事業計画案承認の件
	第4号議案 2023年収支予算案承認の件
	第5号議案 役員改選の件



【近畿支部】

近畿支部の2023年度定時総会がOMMビル2階会議室にて開催された。

次第に沿い、第1号議案では2022年度事業報告、第2号議案では2022年度収支決算報告が行われ、原案通り承認された。第3号議案の2023年度事業計画、第4号議案の2023年度収支予算案についても原案通り承認された。

【2023年度近畿支部定時総会 要旨】

- 日時 2023年6月28日(水) 11:45
場所 OMMビル2階会議室(大阪市中心区)
次第 第1号議案 2022年度事業報告の件
第2号議案 2022年度収支決算報告に関する件
第3号議案 2023年度事業計画(案)に関する件
第4号議案 2023年度収支予算(案)に関する件



【北陸支部】

北陸支部の2023年度定時総会が金沢市のホテル日航金沢で開催された。次第に沿って北陸支部の2022年度事業報告と決算報告、ならびに2023年度の事業計画と収支予算案が報告され、原案通り承認された。総会議事の最後で時岡専務理事より日食協活動報告を行った。

【2023年度北陸支部定時総会 要旨】

- 日時 2023年6月30日(金) 11:00
場所 ホテル日航金沢(金沢市本町)
次第 1. 令和4年度事業報告並びに収支決算報告
2. 令和5年度事業計画並びに収支予算
3. 日本加工食品卸協会活動報告



【北海道支部】

北海道支部の2023年度定時総会が札幌市のプレミアムホテルTSUBAKI札幌で開催された。当日は定時総会に先行して同会場別室で「常任幹事会」が開催され、定時総会議題内容の確認、定時総会以降のスケジュール等について情報共有がなされた。

定時総会では2022年度事業報告と決算報告ならびに2023年度の事業計画、収支予算が原案通り承認された。役員改選の件では池内齊氏に代わり八木秀和氏の常任幹事就任と、他の役員全員の重任が承認された。

定時総会終了後、同会場にて懇談会が開催され、支部ワーキングメンバーを代表して日本アクセス北海道(株)高田宗宏氏より支部活動の報告があり、続いて日食協本部からの活動報告を時岡専務理事が行った。懇談会終了後には懇親会が開かれた。

【2023年度北海道支部定時総会 要旨】

- 日 時 2023年7月5日(水) 15:30
場 所 プレミアホテル TSUBAKI 札幌(札幌市豊平区)
次 第 第1号議案 2022年度支部事業報告に関する件
第2号議案 2022年度支部決算報告及び監査報告に関する件
第3号議案 2023年度支部事業計画(案)に関する件
第4号議案 2023年度支部事業予算(案)に関する件
第5号議案 2023年度支部役員改選に関する件
その他 連絡事項



【九州・沖縄支部】

九州・沖縄支部第75回幹事会と2023年度定時総会が福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で開催された。

【第75回九州・沖縄支部幹事会 要旨】

- 日 時 2023年7月6日(木) 10:30
場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡(福岡市博多区)
次 第 1. 議事録署名委員2名選出
2. 総会提出議案の審議
3. 日食協本部より事業活動報告



【2023年度九州・沖縄支部定時総会 要旨】

- 日 時 2023年7月6日(木) 13:00
場 所 幹事会と同所
次 第 第1号議案 2022年度事業報告並びに収支決算書承認の件
第2号議案 2023年度事業計画並びに予算案承認の件
第3号議案 ・取引慣行改善に係る地域活動の実態報告
・九州地区商品展示会について
第4号議案 役員交代報告の件

定時総会 第1号議案では2022年度の事業報告と決算の報告がなされ、承認を受けた。
また第2号議案、2023年度事業計画と予算案についても原案通り承認された。

第4号議案「役員交代」の件では、大森礼仁氏(ヤマエグループホールディングス株式会社代表取締役社長)の支部長退任と工藤恭二氏(ヤマエ久野株式会社代表取締役社長)の支部長新任案が報告され、承認された。

【中四国支部】

中四国支部の2023年度定時総会が7月7日（金）、ホテルグランヴィア広島（広島市）にて開催された。

【2023年度中四国支部定時総会 要旨】

- 日 時 2023年7月7日（金）11:00
場 所 ホテルグランヴィア広島 21階スカイバンケット「曙光」
次 第 第1号議案 2022年度事業報告書承認の件
第2号議案 2022年度決算報告書承認の件
第3号議案 2023年度事業計画案承認の件
第4号議案 2023年度収支予算案承認の件
第5号議案 役員改選に関する件

第5号議案「役員改選に関する件」では守分孝治氏（藤徳物産株式会社代表取締役会長）の支部長退任と洪江透氏（藤徳物産株式会社代表取締役社長）の支部長新任、並びに滝本徳一氏（国分西日本株式会社執行役員中国支社長）の会計監事退任と小澤康二氏（国分西日本株式会社常務執行役員中四国支社長）の会計監事新任が承認された。

【東北支部】

東北支部の2023年度定時総会が仙台市のホテルモントレ仙台にて開催された。

次第に沿って2022年度事業活動報告（第1号議案）と2022年度決算報告（第2号議案）が行われ、原案通り承認された。続いて第3号議案の2023年度事業計画並びに収支予算案について報告がなされた。

当日は定時総会終了後、昼食をはさんで賛助会員連絡会が同所で開催され、日食協本部から時岡専務理事が活動報告を行った。

【2023年度東北支部定時総会 要旨】

- 日 時 2023年7月26日（水）11:45
場 所 ホテルモントレ仙台（仙台市青葉区）
次 第 第1号議案 2022年度事業活動報告
第2号議案 2022年度決算報告
第3号議案 2023年度事業活動計画及び予算案



一般社団法人 日本加工食品卸協会 支部役員名簿

【北海道支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	黒沢 忠寿	日本アクセス北海道株式会社	代表取締役社長 社長執行役員
副支部長	諏訪 勝巳	国分北海道株式会社	代表取締役 社長執行役員
副支部長	内山 勝夫	三菱食品株式会社	執行役員 北海道支社長
会計監事	藤田 裕一	株式会社スハラ食品	代表取締役社長 社長執行役員
常任幹事	伊関 淑之	北海道酒類販売株式会社	代表取締役社長
常任幹事	八木 秀和	加藤産業株式会社	北海道支社 支社長
常任幹事	濱仲 泰明	三井食品株式会社	北海道支社 支社長

【東北支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	佐藤 淳	佐藤株式会社	代表取締役社長
副支部長	佐藤 和宏	国分東北株式会社	代表取締役 社長執行役員
会計監事	鈴木 徹郎	株式会社山形丸魚	代表取締役社長

【関東支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	佐々木淳一	株式会社日本アクセス	代表取締役会長
副支部長	物井 敦	国分グループ本社株式会社	取締役専務執行役員
副支部長	南 博貴	国分首都圏株式会社	代表取締役 社長執行役員
副支部長	大友 隆之	三井食品株式会社	執行役員 首都圏第一支社長
副支部長	植村 敏男	株式会社サンヨー堂	代表取締役社長
副支部長	横山 達久	三菱食品株式会社	執行役員 首都圏支社長
会計監事	小 奈 健	伊藤忠食品株式会社	東日本営業本部 営業第一部 販売課 課長
幹 事	倉 本 隆	日本酒類販売株式会社	代表取締役社長
幹 事	高尾 祐史	株式会社ヤグチ	執行役員 販売戦略室長
幹 事	長沢 憲明	コンタツ株式会社	物流統括部長
幹 事	竹田 富一	株式会社升喜	ホールセール事業本部 取締役本部長
幹 事	山田 真史	株式会社マルイチ産商	取締役執行役員 食品事業部長
幹 事	斉藤 浩一	横浜乾物株式会社	代表取締役社長
幹 事	前原 康宏	国分関信越株式会社	代表取締役 社長執行役員
幹 事	山口 茂	ヤマキ株式会社	取締役会長
幹 事	奥田 良三	ユアサ・フナシヨク株式会社	常務取締役
幹 事	高橋 定男	群馬県卸酒販株式会社	代表取締役会長
常任幹事	時岡 肯平	一般社団法人日本加工食品卸協会	専務理事

【東海支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	永津 嘉人	株式会社トーカン	代表取締役社長 執行役員
会計監事	西山 徹	西山商事株式会社	代表取締役社長
幹 事	北村 篤司	株式会社北村商店	代表取締役社長
幹 事	佐藤 太一	伊藤忠食品株式会社	執行役員 東海営業本部本部長
幹 事	福井 稔	国分中部株式会社	代表取締役 社長執行役員
幹 事	幸村 伸二	三井食品株式会社	中部支社 支社長
幹 事	山口 勉	三菱食品株式会社	執行役員 中部支社長

【北陸支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	荒木 章	カナカン株式会社	相談役
副支部長	澤田 悦守	北陸中央食品株式会社	代表取締役会長
会計監事	北野 守	石川中央食品株式会社	代表取締役社長
幹 事	塩田 浩一	株式会社田中与商店	代表取締役社長
幹事（監査）	藤井 伸子	マルコク株式会社	代表取締役

【近畿支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	岡本 均	伊藤忠食品株式会社	代表取締役社長・社長執行役員
副支部長	菅 公博	加藤産業株式会社	専務取締役
会計監事	角田 勇吉	五大物産株式会社	代表取締役会長
幹 事	角 博之	国分西日本株式会社	卸事業部長

【中四国支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	渋江 透	藤徳物産株式会社	代表取締役社長
副支部長	廣川 正和	広川株式会社	代表取締役社長
会計監事	小澤 康二	国分西日本株式会社	常務執行役員 中四国支社長

【九州・沖縄支部】

役 職	氏 名	企業名・役職	
支 部 長	工藤 恭二	ヤマエ久野株式会社	代表取締役社長
副支部長	本村 陽一	コグツ産業株式会社	代表取締役社長
会計監事	今井 博臣	国分九州株式会社	代表取締役 社長執行役員
幹 事	石橋 講	旭食品株式会社	取締役 中四国支社長 九州支社長
幹 事	川西 邦彦	伊藤忠食品株式会社	九州支店長
幹 事	金子 潤一	加藤産業株式会社	執行役員 九州支社長
幹 事	齋藤 伸一	株式会社日本アクセス	審議役西日本営業部門長補佐九州エリア統括
幹 事	崎浜 敬	三井食品株式会社	執行役員 九州支社長
幹 事	佐塚 一郎	三菱食品株式会社	執行役員 九州支社長
幹 事	松尾 裕二	株式会社三久食品	代表取締役社長
幹 事	平林 宏一	平林食品株式会社	代表取締役社長
幹 事	宇野 圭郎	株式会社竹之下	会長
幹 事	大仲 裕治	株式会社ホクガン	代表取締役社長